

3. 陝西省

2022年の陝西省の域内総生産（GRP）の実質成長率は4.3%で、前年の6.5%から2.2ポイント減少したが、全国の実質GDP成長率（3.0%）を1.3ポイント上回った。2023年の経済成長率の所期目標は、5.5%前後としている。

2022年の経済状況

2022年の陝西省の域内総生産（GRP）は前年比4.3%増の3兆2,772億6,800万元だった。GRPを産業別にみると、第一次産業は前年比4.3%増の2,575億3,400万元、第二次産業は6.2%増の1兆5,933億1,100万元、第三次産業は2.6%増の1兆4,264億2,300万元だった。消費者物価上昇率は2.1%（2021年は1.5%）、固定資産投資額（農家を除く）は前年比8.1%増（2021年は前年比3.0%減）、一定規模以上の工業生産は7.1%増（2021年は前年比7.6%増）、社会消費品小売総額は1.5%増（2021年は前年比6.7%増）だった。陝西省の住民1人当たり可処分所得は5.4%増の3万116元となった。貿易総額は、前年比2%増の4,835億3,000万元、うち輸出は17.8%増の3,011億3,000万元、輸入は1,824億元、貿易収支は1,187億3,000万元の黒字だった。

陝西省の特徴

陝西省の省都・西安市はシルクロードの起点として、古くから国際的な交易や文化の交流が行われてきた。近年は、中国が国家戦略として進める「一帯一路」（シルクロード経済帯と21世紀海上シルクロード）構想におけるシルクロード経済帯の起点として注目されている。また、「一帯一路」構想を担い、中国の内陸経済を牽引することへの期待から、2017年4月には、中国（陝西）自由貿易試験区が設立された。

陝西省は中国の地理的中心に位置し、中国の東西南北を結ぶ交通のハブである。西部大開発プロジェクトの進展に伴い、陝西省では高速道路、高速鉄道の開通、西安咸陽国際空港の拡張など、急速にインフラ建設が進む。鉄道では、中央アジア、欧州に至る国際貨物列車「長安号」が開通しており、2022年の運行本数は4,639本、貨物輸送量は411万7,000トン、運行本数、貨物輸送量、重箱率の指標において全国でトップを占めている。2022年には西安国際港区で198本の越境EC専用列車が運行し、越境ECの取引額は35億1,000万元となり前年比40.4%増加した。航空では、中国西安咸陽国際空港が全国十大空港の1つとなっている。

陝西省は、教育レベルが高く、高等教育の在校生は100万人を超え、人口10万人当たりの高等教育在校生数が全国3位となっている。2022年の技術契約取引額は3,053億5,000万元に達した。豊富な科学教育資源を生かして航空宇宙産業、IT産業、先端農業等の分野で中国を代表する産業基盤が形成されている。陝西省における優秀な人材と産業基盤を生かした研究開発と技術革新は、中国全体の産業の高度化においても重要な役割を担っている。

国際都市を目指して

すでに進出している企業が陝西省で安定して操業でき、外国人が過ごしやすい環境を整備することが、先進的な取り組みをする外国企業や外国人旅行者の誘致につながり、陝西省が目標とする内陸の改革開放の高地の建設に有益と考える。陝西省に進出する日系企業が、いっそう発展を遂げ、陝西省の経済発展に寄与するために挙げた建議を整理すると、以下の3点に集約される。

第一に、予見可能性の向上である。環境規制への対応では、自社やサプライヤーが地域の大気汚染濃度が高まったときなどに急に操業停止の指示を受けて安定供給の責任を果たすことが困難になり、顧客の信用を失っている事例があった。また、突然の停電で事業停止を余儀なくされた企業もある。すでに進出している企業が陝西省で安定して操業し、発展できるよう、インフラを整え、規制措置は公平かつ合理的なルールを前広に書面で公式に発表することを要望する。

第二に、外国人も過ごしやすい環境の整備である。古都・西安を有する陝西省は元来海外からの観光客が多く、国際文化旅行都市として発展を目指している。こうした海外からの観光客や生活する外国人も過ごしやすい環境を整備することが、陝西省の持つ都市としての魅力の海外への発信となり、さらなる企業や旅行者の誘致につながるものと考えられる。

第三に、総合的な視野に立った公平で迅速な行政サービスの提供である。陝西省が、世界銀行の報告書「ビジネス環境の現状（Doing Business）」をベンチマークし、陝西省のビジネス環境と競争力が、中国国内の経済が発展している地域の水準に追いつき追い越すよう取り組んでいることを歓迎したい。投資環境の改善にあたっては、陝西省進出企業の実情に即したものとなるよう、政策・法令・計画の策定過程で日系企業を含む関連企業との情報交換、調整を十分に行うことを要望する。

対話を通じた互恵関係の構築に向けて

2022年は前年に引き続き中国における新型コロナウイルスの影響により陝西省関係当局と在陝西省日系企業との意見交換会の実現には至らなかったが、意見交換会を継続的に行うことにより相互理解が深まることで、陝西省の投資環境が改善し、企業の円滑な事業展開につながり、競争力のある産業が成長するという互恵関係の構築を目指したい。陝西省関係当局と在陝西省日系企業との定期的な対話・交流の実施を希望する。

<建議>

1. 安定操業環境の確保

① 電力供給

2022年夏季は何度か停電が発生し、住居のエアコンやエレベーターが使用できず特に私生活に

において不便の多い年であった。また、突発的な工場への電力使用量制限要請や緊急工事による送電停止も発生し一時的に工場稼働を停止したため、生産遅延も発生した。電力供給量不足解消に向けたインフラ対応策を要望する。

② 通関

通関手続において同一製品のHS番号や原産地証明など輸出入申告に関する税関審査および保税區、物流園區または保税港區の運用や規則、規定に対する解釈も地域や担当者により異なる。通関一体化の推進に伴い改善がみられる部分もあるが、税関総署等の関連部門に対して、窓口人員への研修の強化やより詳細なマニュアルの整備などにより全国で統一的な運用を行うよう希望する。

③ 環境政策

日系企業が法令遵守を適切に行うにあたり、生態環境庁、各区政府当局による監視や取り締まりなど執行面において、担当者の恣意的な対応ではなく、内外資問わず統一した基準に基づく運用がなされることを要望する。加えて、企業に対する行政指導を行う際には、その根拠法令やデータ等の違反根拠を書面で示す等の説明を要望する。生態環境部は、「一刀切（個別事情を顧みない一刀両断措置）」は固く禁じると発表しているが、環境監査が突発的に実施され、明確な理由なく工場の一時的な休業もしくは営業停止指示を受け顧客の信用を失っている企業もある。操業停止の対象となる事業者を選定する際の客観的基準の公表、改善実施の猶予期間設定、事前通知の徹底等、公平かつ合理的なルールを構築することを要望する。

揮発性有機化合物（VOC）排出量削減においては、大気汚染状況が黄色、橙色、赤色警報等の発令時には生産規制が要求され、計画的な生産活動ができない。VOCの排出量や設置している環境設備など客観的な基準を設けて、対策を採っている企業は安定供給の責任を全うできるよう、工場稼働規制の要求基準の見直しを要望する。また同状況下において排ガス処理設備がない旧型トラックの運行が禁止され部品納入や製品の出荷が不安定になるため改善を要望する。

④ 駐在員、人材

製造業における技術指導および会社全体の管理に熟練した日本から派遣する駐在員に関して、高齢化の問題もあり就業が難しくなってきた。また慢性的に製造ワーカーの供給が不足している。これらについて効果のある政策措置を要望する。

2. 総合的視野に立った取り組み

政策周知、情報交換

日系企業は法令遵守に誠心誠意取り組んでいくつもりであるが、法令遵守を適切に行うことができるよう、法制度解釈の統一的運用、制度変

更の際の十分な準備期間確保、諸手続の簡素化・迅速化、申請・照会に対する文書での回答といった予見可能性等に資する改善を要望する。策定される政策・法令・計画が企業の実態に即したものとなるよう、政策・法令・計画の策定過程で日系企業を含む関連企業との情報交換、調整を十分に行うことを要望する。